

名前

『一子（わんこ）』

一子の外見的特徴

- ・ ショートボブでサイドテール
- ・ 爆乳
- ・ 学生服（冬服）を着用＋亀甲縛り
- ・ 160 cmぐらいの比較的小柄体型

一子の主な台詞

「この首輪はね、私とご主人様を繋ぐ心の

絆なんだよ。この首輪がある限り、私はご主人様のペットであり、私はご主人様の命令には絶対服従なの」

「私、貴方の事がずっとずっと好きでした。私の…、私の…ご主人様になって下さいっ！」（告白シーンにて）

「いひゃいっ！ ほっぺ、ほっぺつねらあいえ、いひゃいいひゃいいひゃい…っ
たあ！ いたたたたたあ…、酷いようご主人様、ほっぺ取れちゃったらどうするのさ」

一子の表面的性質の特徴

- ・ SM 大好き
- ・ 貴方の事が大好きで服従心が強い
- ・ 勉強の出来るバカ
- ・ 猫よりも犬系
- ・ 表情がコロコロと変わる
- ・ とってもスケベ

一子の潜在的性質の特徴

- ・ 孤独
- ・ 依存心
- ・ アブノーマルな性癖に対してコンプレックスを抱いている

あらすじ・彼女の生い立ち

幼少期に両親の性行為を見てから、性に対して強い好奇心が芽生える。性の目覚めは比較的早く小学生低学年頃。

中学に入る前に両親が離婚する。幼少期あんなに愛し合って性行為を重ねていた二人が、結果離婚してしまった事が非常にショックで、貴方と奴隷契約を結ぶまで、トラウマとなって彼女の心を縛り付けている。

中学時代になると性の知識は行くところまで行って、SMの世界にどっぷり傾倒する。

ある日、学校にSM雑誌を持っていった事がクラスメイトにバレて、それをキッカケにクラス全体でイジメが始まる。

母子家庭と言う事もあり、母親に迷惑をかけたくない一心で、気力を振り絞ってなんとか中学校は卒業する事が出来た。

学校を卒業すれば改善されると思ったが、彼女の意に反してさらにイジメがエスカレートする。

もう自分はダメかもしれない。

いっそ楽になった方がいいかも。

苦しくて、毎日が死んでしまいたい気持ちで満たされていたその時、貴方と出会う。

貴方と心を通わす内に、次第に彼女の中で変わっていく。彼女の中に、立ち向かう勇気が生まれたのである。

結果として、虐めはなくなり、彼女は生まれて初めて特定の男の子に対して恋愛に似た感情が生まれる。

次第に彼女の思いは強くなり、こんな自分を大切にしてくれた貴方に、はっきりとした恋慕の情を覚えるようになる。しかし、打ち明けて駄目になるのが怖い。

彼女は大好きな貴方に振り向いて貰うために、明るい性格になろうと決断する。イジメにより暗くどんよりとした性格を変えるべく、うまく笑えるように笑顔の練習を始める。苦手だった勉強も沢山した。

その甲斐もあって、以前よりも明るくなり、少数だが友達も出来た。

彼女は傍から見ると、元気で、愛嬌があって、悩みなんてなさそうに見える。けれど、本当はとても寂しがり屋で、性根が暗く、泣き虫な女の子。彼女はそんなネガティブな感情を、大好きな貴方の前では絶対に出さない。嫌われるのが怖いから。

貴方が好きだけど、私なんかじゃと思う葛藤と過去のトラウマに苛まれながら、彼女は貴方に告白を決意する。